授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ （活動の展開・事業化）　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	川村泰子	実務経験の有無	有	開講期	３年前期
科目ナンバリング	N6-3016pht				

【授業の主題】

公衆衛生看護は，個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、人々の生活に視点をおいた支援を行っています。公衆衛生看護活動を展開するための地域保健活動の基本とその理論について学修します。また、事業化する、施策化することの意義と実際について学修します。

【到達目標】

1．公衆衛生看護活動における事業化、施策化の意味について理解できる。
2．事業化、施策化のプロセスについて理解できる。
3．演事業の評価について理解できる。

【授業計画・内容】

1. 公衆衛生看護としての地域保健活動　　公衆衛生看護の目的と地域保健活動
2. 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割
3. 地域保健活動に必要な保健師の能力　　保健師の活動形態と方法
4. 地域保健活動の理論・モデル（1）活用できる能力/技術の枠組み
5. 地域保健活動の理論・モデル（2）行動を生み出す力/地域活動の理論・方法
6. 行動を生み出す力/地域活動の理論・方法
7. 公衆衛生看護活動における事業化（1）意味と意義
8. 公衆衛生看護活動における事業化（2）プロセス
9. 公衆衛生看護活動における事業化（3）プロセス
10. 公衆衛生看護活動における事業化（4）評価
11～14.（演習）　事例の検討・プレゼンテーション
15. 公衆衛生看護活動と住民のパートナーシップ

【授業実施方法】

授業は主として講義形式で行う。既習の関連科目は復習しながら主体的に授業に参加すること。
授業内容によってグループワーク、プレゼンテーションを行う場合もある。

【事前・事後学習】

リフレクションペーパーを記載するときには授業内容を振り返り復習として取り組むこと。
事前に教科書（授業に該当する部分）はよく読んで出席すること。
予習、復習はいずれも毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

公衆衛生看護学概論

【教科書等】

保健学講座３　公衆衛生看護支援技術，メヂカルフレンド社,
一般財団法人　厚生労働統計協会：厚生統計協会編「国民衛生の動向 2025/2026 年」

【参考文献】

随時、資料の配布や参考図書を紹介する

【成績評価方法】

1）2/3 以上の出席者につき授業の参加状況、リフレクションペーパー、課題、定期試験から総合的に評価する。
2）リフレクションペーパーをすべての授業終了後に提出することで５点を加算する。
3）提出課題（20%），定期試験（75%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験等を活かし公衆衛生看護活動の実際を伝えていきます。

【学生へのメッセージ】

公衆衛生看護活動をダイナミックに展開することにつながる内容にしていきたいと考えています。個人・家族・集団をどのようにとらえ地域の健康課題を見いだしていくことができるのか、ともに考えていきたいと思っています。